

# 洪水時の情報

## 市から発令される避難情報

水害、土砂災害が発生する恐れがある際に避難行動を促す「避難情報」は、「警戒レベル」の表示と併せて発令します。避難のタイミングを見極める基準の一つとして、どのレベルで避難すべきか家族で話し合っておきましょう。

警戒レベル	避難行動	避難情報等	気象庁などから出る情報
レベル5	すでに災害が発生している状況。命を守るための最善の行動を取る	緊急安全確保	氾濫発生情報、大雨特別警報など
レベル4	安全な場所へ、全員避難	避難指示	土砂災害警戒情報、氾濫危険情報など
レベル3	高齢者など、避難に時間を要するかたは避難。その他のかたは避難の準備をする	高齢者等避難	氾濫警戒情報、洪水・大雨警報など
レベル2	避難行動の確認	注意情報等	洪水・大雨注意報など
レベル1	心構えを高める	早期注意情報等	早期注意情報など

※詳しくは、市のホームページをご覧ください。

# 雨の降り方と強さ

1時間雨量 (mm)	雨の強さ (予報用語)	人の受けるイメージ	人への影響	屋内 (木造住宅を想定)	屋外の様子	車に乗っていて
10~20	やや強い雨	ザーザーと降る。	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	雨の音で話し声が良く聞取れない。	地面一面に水たまりができる。	
20~30	強い雨	どしゃ降り。	傘をさしていてもぬれる。			ワイパーを速くしても見づらい。
30~50	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る。		寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。	道路が川のようになる。	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる。(ハイドロプレーニング現象)
50~80	非常に激しい雨	滝のように降る。(ゴーゴーと降り続く)	傘は全く役に立たなくなる。		水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	車の運転は危険。
80~	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。				

出典：気象庁HP リーフレット「雨と風(雨と風の階級表)」より、「雨の強さと降り方」を加工して作成  
イラスト：気象庁提供

# 避難行動判定フロー

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう

## 避難行動判定フロー

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。



あなたがとるべき避難行動は？  
必ず取り組みましょう



家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

● 浸水の危険があっても…

- ① 洪水により家屋が倒壊または崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
- ② 浸水する深さよりも高いところにいる
- ③ 浸水しても「水がひくまで我慢できる」「水・食糧などの備えが十分にある」ような場合は自宅に留まり安全確保をすることも可能です。



ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、市が指定している避難所兼避難場所に避難しましょう

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、市が指定している避難所兼避難場所に避難しましょう

「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難所に行く必要はありません！